



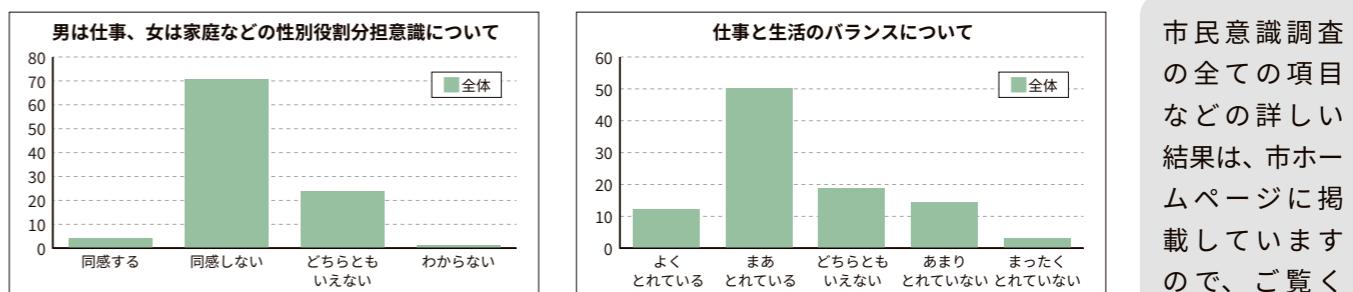
112

『男女共同参画に関する市民意識調査』結果報告

●問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班 ☎096-248-1112

本市では、令和9年度から始まる第5次の市男女共同参画推進行動計画の資料として、昨年9月に市民3,000人を対象に男女共同参画に関する市民意識調査を実施し、1,010通の回答がありました。ご協力ありがとうございました。

市民の皆さんには『男女共同参画』について、どのような意識を持っているのでしょうか。調査結果の一部をお知らせします。



『性別役割分担意識』についてお尋ねしています。「同感しない」が7割を超えていましたが、「どちらともいえない」も約2割となっています。

役割を固定するのではなく、「できる人が、できる時に、できるだけ」という意識を持つことが大切です。

合った仕事・家事・育児・趣味などの時間の使い方ができるのでは無いでしょうか。

市民意識調査の全ての項目などの詳しい結果は、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



▲市ホームページ

あなたの経験・知識をお待ちしています

**人材(財)バンクに
登録しませんか**

●問い合わせ先 企画課 企画広報班 ☎096-248-1813

11 おみけいわあ
まことじゆう



市では、市自治基本条例に基づく“参画と協働によるまちづくり”を目指し『合志市人材(財)バンク制度』を設けています。

同制度は、市の発展に貢献したいと思っている人を発掘・登録し、各種委員会・審議会などの委員募集時に紹介する制度です。

▶登録できる人

- ・自らの経験と知識を生かして市の発展に貢献したいと思っている人
 - ・市の各種委員会・審議会などに参加できる人
 - ・年齢・性別は問いません

▶登録方法

- ・ホームページまたは企画課にある登録申込書に記入して、メール・ファクス・郵送または窓口で提出してください。(通年募集)

提出先

〒861-1195 (住所不要) 合志市役所 企画課
Fax 096-248-1196 E-mail: kikaku@city.koshi.lg.jp



平成22年の男女共同参画に関する市民意識調査では『男は仕事、女は家庭』など性別で役割を固定した考えについて「同感する」と答えた人が5・8%、「同感しない」と答えた人が51・7%、「どちらともいえない」が40・7%でした。令和7年の調査では同じ質問で、「同感する」と答えた人が4・2%、「同感しない」と答えた人が70・5%、「どちらともいえない」が23・8%となっています。この数値から見ると、15年前と比べて意識は確実に変わってきていることが分かります。

しかし日本では、長時間労働や年功序列、同調圧力といった文化が根強く残っています。厚生労働省の『毎月勤労統計調査(令和6年

男女共同参画推進懇話会便り

私が男女共同参画の推進活動を始めて約15年が経過しました。活動当初のことを振り返ると、一番のテーマとしてワークライフバランスのことが取り上げられ、議論をしていました。

平成22年の男女共同参画に関する市民意識調査では『男は仕事、女は家庭』など性別で役割を固定した考え方について「同感する」と答えた人が5・8%、「同感しない」と答えた人が51・7%、「どちらともいえない」が40・7%でした。令和7年の調査では同じ質問で、「同感する」と答えた人が4・2%、「同感しない」と答えた人が70・5%、「どちらともいえない」が23・8%となっています。

この数値から見ると、15年前と比べて意識は確実に変わってきていることが分かります。

しかし日本では、長時間労働や年功序列、同調圧力といった文化が根強く残っています。厚生労働省の『毎月勤労統計調査(令和6年

原はら
恭平さん

者の所定外労働時間は月13時間を超え、年間では150時間以上に及びます。働き方改革によって、フレックスタイムやテレワーク、副業などの制度は整いつつありますが、現場では「制度はあるが使いづらい」という声も少なくありません。特に介護や育児との両立は、長時間労働が壁となり、男性の育児参加や介護離職の防止が進みにくい状況があります。

世界を見てみると、スウェーデンでは効率的に働き、家族や地域との時間を大切にする文化が根付いています。単なる制度の差ではなく、「何を優先する社会か」という価値観の違いが社会、文化を変えていくのだと思います。

個人ができることとして、ミクロレベル(家庭)からメゾレベル(職場など)、マクロレベル(社会、制度)へ段階的に訴えかけ変えていくことが求められているのだと思います。

A QR code located at the top right of the page, which links to the official website of the City Consumption Life Center.

23



▲市ホームページ
男女共同参